

7月臨時教育委員会会議録

- 1 日程 平成 29 年 7 月 31 日 (月)
- 2 場所 市役所 3 階 会議室 305
- 3 案件
 - 会議録署名委員の指定について
 - (1) 審議事項
 - 審議第 1 号 教科用図書採択について
- 4 出席者

委員長	藤本 英生
委員長職務代理者	杉本 優子
委員	糸野 聡史
委員	福村 尚子
教育長	多田 実
- 5 事務局出席者 教育部長 (教科用図書選定委員長)、
教育部理事兼次長 (教科用図書選定副委員長)
教育総務課長、学校教育課長、学校教育課課長代理兼チーフ
学校教育課主幹
- 6 書記 教育総務課主事補

午後 1 時 30 分 委員会開会を宣して日程に入る。

○教育総務課長

会議に先立ちまして、事務局から本日の傍聴者の報告をさせていただきます。藤井寺市教育委員会傍聴人規則に基づき、傍聴希望者を募集したところ、本日は 15 名の希望者がおられました。事務局で傍聴手続きを行い入場していただいておりますので、報告させていただきます。

では委員長よろしくお願いたします。

○委員長

みなさま方、こんにちは。只今から、臨時教育委員会会議を開会いたします。

本日の臨時教育委員会の案件は、「教科用図書採択について」でございます。「平成 30 年度使用の小学校教科用図書の採択」及び「平成 30 年度使用の中学校教科用図書の採択」、さらに平成 30 年度から小学校で新たに教科となります「小学校 特別の教科道徳」の採択を行うこととしたいと思います。

内容に入る前に、本日の会議録の署名は、福村委員にお願い致します。どうぞよろしくお願いたします。

まずはじめに、「平成 30 年度使用の小学校教科用図書の採択」及び「平成 30 年度使用の中学校教科用図書の採択」を行います。教科用図書の採択については、文部科学省通知「平成 30 年度使用教科書の採択について」に基づき、「今年度と同様のものを採択すること」となっております。藤井寺市におきましても、平成 30 年度は今年度と同様のものを採択することにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

つづきまして、「平成 30 年度使用の小学校 特別の教科道德の採択」を行います。

それでは委員の先生方には、選定委員会の答申を踏まえながら、学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市の児童にとって最適な教科書を採択するために、幅広い論議をお願い致します。

去る 7 月 13 日に藤井寺市立小学校教科用図書選定委員会の答申を受けました。答申にもありましたように、藤井寺市によりふさわしいと考えられる教科用図書、数社を推薦していただきました。

本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

それでは、特別の教科道德の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

特別の教科道德の採択候補図書 8 社についての特色等につきまして、主なものを簡潔に説明させていただきます。

まず東京書籍では、特に目標・内容の取扱い、人権の取り扱いに特色があります。その中でも、議論（言語活動）につながる学習として、3 年生以上の学年において「考えるステップ」で教材について主体的に考えることができ、話し合いを通じて学んだり、問題の探求やそのまとめとしての学習ができるように配慮されております。また、全学年において各学年の発達段階に合わせながら、いじめをしない、いじめを許さない心を育てる教材を間接的・直接的に取り入れ、継続的に学習できるように工夫されております。

次に学校図書では、特に目標・内容の取扱い、人権の取扱いに特色がみられます。その中でも、道德学習の手引きが用意されており、道德的実践力と態度を育てられるように配慮されております。また問題解決的な学習、体験的な学習などが多く取り入れられ、子どもたちが対話を通して考えを深められるよう配慮されております。さらに、いじめに向き合う心を総合的に育てられるような教材が全学年で取り扱わ

れております。

次に教育出版では、特に目標・内容の取扱い、組織・配列に特色がみられます。その中でも、教材ごとに「学びの手引き」が配置され、授業の流れに沿って学習を整理しやすいように配慮されております。また、日本文化についての写真や挿絵を用いた資料を掲載しており、著名な人物を取り上げることで、我が国の文化や伝統の素晴らしさを実感できるよう配慮されております。

次に光村図書出版では、特に内容の程度、発展的な内容に特色がみられます。その中でも、各学年の最初のページに詩が掲載され、道徳の学びへの関心を引き出したり、伝記で知られる先人や現在活躍する人物を扱ったりと、児童が興味を持って学習に取り組めるように配慮されております。また、現代的な課題として、食育、消費者教育、法教育、福祉に関する教育、防災教育などを取り上げており、さまざまな角度から道徳教育にアプローチし、子どもたちの道徳性が幅広くなるよう配慮されております。

次に日本文教出版では、特に目標・内容の取扱い、人権の取扱い、発展的な内容に特色がみられます。その中でも、役割演技・動作化を通して実感を伴ういきいきとした学習活動を展開し、主人公の気持ちに迫り、友達の考えと自分の考えを比べることができるよう十分配慮されております。また、いじめ防止をテーマにした教材が各学年複数配置されており、いじめ問題に継続的に取り組めるよう十分配慮されております。さらに、情報モラル、食育、消費者教育、防災教育などの教材を取り上げ、現代社会のさまざまな課題に十分配慮されております。このような点から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

次に光文書院では、特に人権の取扱い、組織・配列、発展的な内容に特色がみられます。その中でも、他者の良さを認め、差別や偏見を持たず、分け隔てなく接する心を育む教材を発達段階に応じて取り入れるなど十分配慮されております。また全学年、読み物教材では、吹き出しを使ったキャラクターが問題提起をしたり、話し合いの方法がワークシートに記入できるようにしたりと十分配慮されております。さらに、他教科・他領域・家庭・地域社会との連携や情報モラルについて、全学年で発達段階に応じて適切に取り扱われております。このような点から、選定委員会は光文書院を推薦しております。

次に学研教育みらいでは、特に目標・内容の取扱い、人権の取扱い、組織・配列に特色がみられます。その中でも、役割演技など体験的な学習活動や多様な学びを展開することで児童が主体的に課題を発見し、解決をする資質や能力を培うことができるよう十分配慮されております。また、自己との対話につながるよう工夫することで、いじめ防止、いじめ問題に対応できる力をはぐくめるように教材が全学年で適切に取り扱われるよう十分配慮されております。さらに、他教科との関連を示すことで、学校生活全般において道徳教育を考えられるように十分配慮されております。このような点から、選定委員会は学研教育みらいを推薦しております。

最後に、廣済堂あかつきでは、特に目標・内容の取扱い、人権の取扱いに特色があります。その中でも、教材のポイントを分かり易く示されており、児童が見通しを持って多面的・多角的に自己の生き方について考えを深め活動できるように配慮されております。また、いじめ防止や生命の尊さに重点が置かれており、小見出しでキーワードを出しながら、生きることのすばらしさや、生命の尊さについて考えを深められるように配慮されております。

以上、特別の教科道徳、8社について説明いたしました。以上です。

○委員長

それでは、委員の先生方、特別の教科道徳の審議をお願いします。

○教育長

それぞれの教科書の特徴を説明いただきまして、よくわかりました。選定委員会で特にどんな点が議論の柱になっていたのかということについても、教えていただければと思います。

○委員長

選定委員長。

○選定委員長

はい。特に選定委員会で議論になった点は、多様な価値観から、児童が自分を振り返り、考え、行動に結び付けていくための手立てとして、どのように配慮されているかという点でした。また、いじめや情報モラルについて、どのように扱われているか、学習を通して、児童が考えたことや感じたことを振り返るための工夫がどのようにされているかなどが議論になりました。

○教育長

ありがとうございました。今回の道徳の教科化の趣旨の一つが、考え、議論する道徳への転換と言われています。教育出版では、資料のはじめに、学習のねらいが明確に示されています。6年生4ページをご覧ください。資料のはじめに、内容項目にかかわるテーマが示されています。ここでは「くじけずに努力する」と表現されています。その次に学習の中心となる部分を問いかけの形で明確に示されている。こういったことで、子どもにとって学習課題が明確になることや問題解決的な学習が展開しやすいという形で工夫されているように思います。

続いて7ページをご覧ください。ここには、「学びの手引き」が示され、資料のポイントとなる部分を外さず学習が進められるよう配慮されているのではないかと感じました。

○委員

資料のはじめに、学習のねらいを明確にすることは効果的だと思います。さらに、自分を見つめなおすという視点も大切だと思います。

光文書院の3年生教科書の10ページをご覧ください。「友だちになるときに、大切なことは何だと思いますか。」と問いかけがあり、児童が自分のことを振り返るきっかけを作り、さらに学習を自分のこととしてとらえ、考えられるよい工夫だと思います。

また、同じく13ページには、児童に考えさせるポイントや発展的な活動につながるヒントが示されています。

○委員長

今、光文書院の工夫の話がありましたが、資料のはじめの工夫という点でいうと、学研教育みらいでは、問いが生まれる工夫として、例えば、1年生の教科書42・44ページをご覧ください。児童が使う場所やもののルールを考え、みんなが使うものは、どのように使えばよいのか、かるたの活動を通して主体的に考えられるよう工夫されています。

また89ページをご覧ください。「深めよう」というコーナーでは、学習した道徳的な価値をさらに発展させ、行動化できるよう工夫がされていると思います。

○委員

同じように資料のはじめの工夫になりますが、東京書籍では、資料のはじめが問いかけから始まるようになっていきます。5年生教科書の26ページをご覧ください。資料のはじめに、「きまりや約束は、だれのため、なんのためにあるのでしょうか？」という問いかけがあり、資料の内容項目に関わって自身を振り返らせ、資料を通して、何を考えるのか、投げかけています。

また、3年生以上では、「考えるステップ」が設けられています。6年生の79ページをご覧ください。児童が主体的に考え、話し合いを通して学ぶことができるように工夫されていると思います。

○委員

東京書籍と同じく、日本文教出版でも同じような工夫があります。3年生の教科書の12ページをご覧ください。資料のはじめに、「正直に言えずに、そのまま時間がすぎてしまったことはありますか」という問いかけがあり、また15ページの最後には、「考えてみよう」「見つめよう、生かそう」があり、ねらいがより深められる工夫がされていると思います。

さらに2年生の84ページをご覧ください。学習後に「学習の手引き」を設け、「礼儀正しく、電話の受けこたえをやってみよう」という道徳的な体験活動が適切に行えるような工夫があり、児童にとって実感を伴ういきいきとした学習活動が期待できると思います。

○教育長

確かに日本文教出版では、学習後の「学習の手引き」が充実しており、道徳的な体験活動が適切に行えるよう工夫されていると思います。教育出版では、こうした工夫のほかに、学習したことを行動化して考えさせるということで、スキルという内容が設けられています。例えば、2年生の11・12ページをご覧ください。ここでは、礼儀正しいあいさつの仕方について、お辞儀をするタイミングや相手の前で立ち止まることなど、行動によってより良く気持ちが伝わるよう、工夫がなされていると感じました。

○委員

学びの記録が記入できる点では、どの出版社も工夫されていると思います。

少し視点を変えて、別冊について考えてみたいと思います。今回、学校図書、日本文教出版、廣済堂あかつきは別冊を用意されています。特に日本文教出版の別冊「道

徳ノート」はしっかり工夫がされていると思います。4年生の別冊2ページをご覧ください。多様な考えに触れ自分を見つめ直すという点で、友だちの考えを記録し、仲間の考えを認め、多面的な考え方に気づき、自分の考えを広げ深められる工夫になっています。また巻末には、学期末や学年末に長い期間を通しての振り返りができるようになっています。さらに保護者記入欄もあり、家庭と学校の連携ができるようになっています。

○委員

同じ別冊という点では、学校図書では、「活動」という別冊ノートがあり、児童が、考え、議論し、見つめ直し、成長や学びの深まりが記録できるようになっています。例えば、学校図書の別冊5年生の26ページをご覧ください。ここには、「考えてみよう」「話し合おう」などのアクティブマークで、道徳的価値に迫る効果的な活動が取り組めるようになっていると思います。この工夫によって、児童が多様な考えに触れ、考えを広げ深めることができると思います。さらに5年生の別冊27ページには、学びの記録が記入でき、児童自身が成長を実感し振り返ることができるよい工夫だと思いません。

でも、別冊を比べてみますと、総合的に判断しますと、日本文教出版の方がより工夫されているように思います。

○委員

私も日本文教出版の道徳ノートは、毎時間記録し、1年間の児童の変容をみとることができるよいノートだと思います。

しかし、学びの記録に対する工夫という点では、廣済堂あかつきもしっかり別冊の工夫がされていると思います。自己評価や活動記録を通して、児童が道徳的思考を深め、道徳的価値を理解できるよう工夫されていると思います。記録の仕方も工夫されており、例えば、3年生の別冊24ページをご覧ください。「話し方・聞き方名人をめざそう」というコーナーがあり、そこではマーク式で自己評価ができたり、同じく別冊27ページでは、自由記述ができるフリーノート欄があります。さらに巻末には、「心のしおり」があり、家の人にサインをもらったり、内容項目別に自己評価できるよう様々な工夫がされていると思います。

○委員長

道徳の時間で、道徳的な価値や、学習のねらいに、どのようにせまり、よりよい生き方につなげていくのかについて、各教科書会社では、よく工夫されていることがわかりました。

子どもたちを取り巻く現代的な課題については、どのように取り扱われているのでしょうか。私は、各社ともバランスよく取り扱っていると思いますが、特にいじめや情報モラルの取り扱いについて見てみました。光村図書では、コラム「いじめを許さない心」を特設しています。例えば、6年生の81ページをご覧ください。高橋みなみさんからの「いじめについて考え続けよう」というメッセージを掲載し、学習意欲を高めています。また、いじめに関連する資料3つを70ページから連続して掲載することで、学習を深められるよう工夫されています。

○委員

いじめ問題について述べますと、日本文教出版では、教室でのいじめを取り上げたり、いじめについて客観的に学習できる資料を掲載したりし、いじめに直接向き合っている資料が目立っています。例えば、4年生の94ページをご覧ください。「いじりといじめ」という資料では、子どもの身近にある「いじり」という行為を取り上げ、また98ページで、子どもたちでしっかり話し合い、考えを深められるよう工夫しています。さらに、92ページでは、いじめについて客観的な資料として、いじめの四層構造や、いじめられたときの相談相手を示しています。いじめを知ったときに、自分はどの行動すべきかを考えられるようになっています。これは、いじめを子どもたちで防いでいく道徳的な実践力につながると思います。

○教育長

いじめ問題については、光村図書や日本文教出版と同様、学研教育みらいにもしっかり工夫がされていると思います。例えば、5年生の98・100ページをご覧ください。「いじめをなくすために」というテーマで、宮本亜門さんや増田明美さんのいじめる側や傍観者の心情に訴えるようなメッセージが掲載されています。いじめをテーマに、児童が直接考えることができ、さらに、関連する形で他者とよりよく生きることについて考えさせる資料が前後に掲載されています。

○委員長

いじめについては、各社とも工夫されていますが、日本文教出版では、発達段階に合わせた工夫がされていると思います。6年生の29ページをご覧ください。子どもたちが遊びや冗談のつもりでしたことが、法律では犯罪になることがあるということを知らせ、自分たちの行動について、法律を通して考えられるよう工夫されています。

○委員

いじめにつながる要因には、子どもたちのネットでのトラブルも挙げられると思います。光文書院の1年生90ページをご覧ください。「みんなでルールを考えよう」と最初に書いてあり、規則正しい生活習慣につながられるよう、スマホやゲームを長時間しないためのルールについて、学習できるようになっています。さらに6年生の62ページをご覧ください。ここでは、携帯電話やスマホが原因で起こる友だちとのトラブルについて取り上げ、相手とのよりよい関係を作るために、必要なことや、正しい情報端末の使い方を考えられるようになっています。このように、全学年を通して、発達段階に合わせて情報モラルの学習が工夫されていると思います。

○委員

確かに、光文書院は1年生から情報モラルの学習ができる点は、特徴的なところだと思います。

しかし、情報端末の使い方と人とのかかわり方が中心の資料が多い中、日本文教出版の5年生の140ページをご覧ください。ここでは、携帯電話を持っていない児童の話を取り上げ、持ってない児童の立場からもよりよい友人関係を考えていけるように

工夫されていると思います。また、この資料は、教育出版にも掲載されており、児童の携帯電話の所持率が高まる中、持っていない子の立場も踏まえ、教室で考えることは、とても大切であると思います。

○教育長

少し観点が異なりますが、地域に根差した教材という視点から各社、調べてみました。日本文教出版では、4年生の114ページを開けてください。そこにあります「にぎりしめた稲」では大和川のつけかえをテーマにし、郷土の学習を心の面からも取り上げることで効果的であると考えます。同じく日本文教出版の5年生の130ページをご覧ください。阪神淡路大震災の資料を取り上げています。身近な地域に関連のある資料を取り上げることは、資料の内容や趣旨により共感しやすいという効果が期待できると思います。

○委員長

他に意見はないでしょうか。

命の大切さについては、各教科書ともよく工夫されていると思います。とても大切な視点だと思いますが、この点についていかがでしょうか。

○委員

確かに各教科書ともよく配慮されていて素晴らしいと思いますが、私はより強く子どもたちの心に訴えかけているように工夫されているのが、日本文教出版、教育出版、学研教育みらい、廣済堂あかつきだと感じました。

○委員

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、特別の教科道徳においては、現代の課題に配慮しつつ、豊かな学習活動を通して、自分を振り返り、多様な考えに触れ、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育ていけるよう工夫されていることが大切である、というのが主な意見だったと思います。また、経験の浅い若い先生が増えている現状から、授業の組み立て方や展開についても配慮がなされていることが大切だと思います。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってはいかがでしょうか？

○委員長

今、採択に移ってはという意見が出されました。他に意見はありませんか。

ないようですので、藤井寺市にとってどの教科書がよりふさわしいと考えておられるのかを、教科書会社名とともに述べていただいてもよろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員

では、いいですか。私は日本文教出版がよりふさわしいと考えます。児童が主体的

に考え、話し合いを通して学ぶことができるように、とてもよく工夫されていると思います。また道徳的な体験活動が適切に行えるような工夫がされていることから、よりふさわしいと考えます。

○委員

私も日本文教出版がよりふさわしいと考えます。日本文教出版の別冊は、自分を見つめ直すという点で、仲間の考えを認め、多面的な考え方に気づき、自分の考えを広げ深められる工夫になっていることがよりふさわしいと考えました。

○委員

私も、日本文教出版がよりふさわしいと思います。情報モラルの学習は今問題となっておりますけれども、その点でも、携帯電話やスマホを持っている児童の立場からだけでなく、持っていない児童の話を取り上げ、持っていない児童の立場からもよりよい友人関係を考えていけるように工夫されているところが良いと考えました。

○委員長

私も日本文教出版がよりふさわしいと考えます。どの教科書会社もあらゆる観点で丁寧に工夫されていると感じました。藤井寺市の子どもにとって、よりふさわしいのかと考えると、地域に根差した教材を取り扱い、郷土の学習を心の面からも取り上げることでより効果があると考えます。

○教育長

私も同じになりますが、日本文教出版がよりふさわしいと考えます。これまで各委員が述べられた意見に加え、授業の組み立てや展開によく配慮がなされているということが大事だと思っています。藤井寺市でも経験の浅い先生が増えているのが現状です。どの先生方においても授業のポイントを外さずに授業を組み立てたり展開することは大切であります。そういった点においても日本文教出版の教科書はよく配慮されていると思います。

○委員長

日本文教出版がよりふさわしいと考える委員が、5名全員です。特別の教科道徳において、日本文教出版を採択することによろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○委員長

審議の結果、特別の教科道徳は日本文教出版を採択することに決定します。

長時間にわたるご審議ありがとうございました。平成30年度使用、小学校特別の教科道徳の採択は、市教育委員会事務局、府教育委員会、各学校等の積極的な協力のもと、また市民からも幅広い意見が届けられ、本日、採択の最終日を迎えることができました。

委員長といたしましては、教科書採択にあたっては、学習指導要領の基準性を踏まえ、児童が多様な学びから自ら考え、道徳的判断力・行動力を高めることができ、豊かな心を育成するための工夫がなされていること、また、児童がいじめや命の大切さに向き合い将来に渡り生命を尊重できる心を育むことができること、現代の課題に配慮しつつよりよく生きるための基盤となる道徳性を育むことができること、経験の浅い教員でも授業の組み立てや展開がしやすいよう配慮されていること、そして、本市の地域や子どもたちの実情に即し主体的に学習する意欲が高められること、このような観点で教科書の採択を行い、本日無事終えることができました。

来年度は、本日採択した教科書を用いて、本市の児童生徒がしっかり学習に励み、学力が向上していくこと、道徳性がはぐくまれていくことを期待いたします。

これをもちまして、平成30年度 藤井寺市の児童生徒が使用する教科用図書の採択に関する会議のすべての日程を終了いたします。

ありがとうございました。

会議事項が終了したので、閉会を宣する。

午後2時20分